

# ユニオンファンド 月次レポート

第 194 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2025年1月9日作成

## MONTHLY TOPIC

### ゆっくりでもいい。資産は大きく育てほしい

年末年始は皆さまいかがお過ごしだったでしょうか。故郷で親戚と久しぶりに会ったという方もいらっしゃるでしょう。毎日見ている子供の成長には気がつかないのに、たまに会う甥っ子・姪っ子や孫の成長の速さには驚かされるという話をよく聞きます。あるいは、楽しい時間はあっという間に過ぎ、辛い時間や退屈な時間はゆっくりとしか進まないとも言われます。時間は一定のペースで進んでいるはずですが、その感じ方は時と場合によりけりです。

#### 早く上がってほしいのに、株価はゆっくりしか上がってくれない

日経平均株価が初めて4万円の台に乗せたのは昨年3月のことで、間もなく1年になりますが、その後なかなか上に行きません。株価は企業のいわば成長記録なのであり、企業の成長がゆっくりである以上、株価の上昇も基本的に時間がかかるものです。ただ、日々の変化は感じられなくても、5年10年経ちますと、久しぶりに見た甥っ子・姪っ子・孫と同様、すっかり姿を変えていることはよくあります。企業の成長が続けば、株価もいずれ上がっていくのが普通と思われま

#### 動くものに敏感なものやむなし、ではあります

株価が大きく動くと、千載一遇の機会や重大な危機であるかどうか確かめようという投資家が増え、市場は騒がしくなります。人間に限らず、動物は動くものに自然と目を向け、それが餌なのか敵なのかを見分けようとします。投資家も同じで、これは生き残るために必要な習性と言ってもよいでしょう。ただ、企業の中身が一夜で大きく変わってしまうことはめったになく、たいていはすぐに忘れられます。一時的な騒ぎをこの業界ではノイズ、つまり雑音と呼びます。ノイズを含む大小の動きにうまく対応することが投資だと思っている人は多いですが、簡単なことではありません。私たち運用に携わる者は、安易にノイズと片づけず、見極める作業を続けるわけですが、皆さんには株価の動きではなく、その根拠となる企業の成長をじっくり待つという投資をお勧めしています。

#### 待てば海路の・・・

ユニオンファンドの基準価額は昨年7月に一時4万円に乗せました。これまでの歩みを振り返ると、大きく下がった年もありましたし、スタートから16年もかかりました。大満足とは言えません。しかし年率で言えば8%以上の値上がりです。そして、これは企業が着実に成長してきた結果だという点が大事です。値上がりの遅さにウンザリしたり、下落相場にハラハラしたり、といったことが今後もあるでしょうが、そんな時こそ投資を続けることが肝心です。いずれ大きな成果が得られると思います。今年がそのためのよい年になることを祈っています。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2024年12月末現在)

## 基準価額

39,162 円

## 純資産総額

142 億 54 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	2.70%
1 年	12.20%
3 年	26.08%
5 年	54.65%
10 年	81.86%
設定来	291.62%

## 複利年率(%)

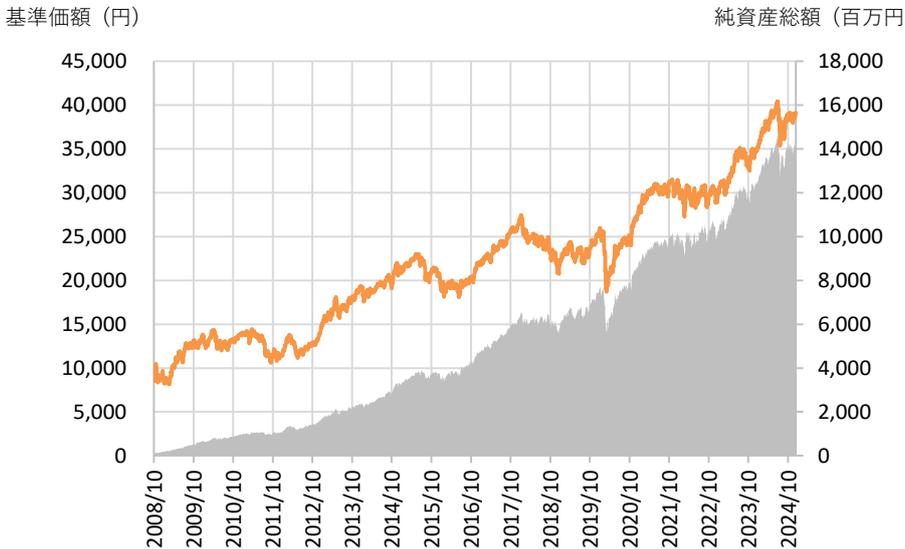
8.79%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

\* 設定来、分配の実績はありません。

## 基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

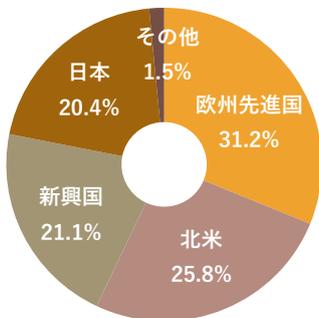


## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.7%	2.6%
スパークス F	日本	12.4%	2.5%
キャピタル F	欧米	20.3%	3.4%
ハリス F	欧米	19.5%	2.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.6%	2.5%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.5%	4.5%
現金等	-	13.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2024年11月末現在)

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2024年12月の市場動向と運用状況

## 投資環境

世界の株価は、前半こそ米国の主要株価指数が史上最高値を更新するなど総じて堅調でしたが、後半は失速し、現地通貨ベースでは前月比ほぼ横ばいで終わりました。韓国では大統領が非常戒厳を宣言するという異例の事態が発生しましたが、早期に解除されたこともあり、影響は瞬間的な円高シフトなどにとどまりました。シリアではアサド政権が崩壊し、中東全域への混乱の波及が懸念されましたが、市場への大きな影響はありませんでした。

米国では中旬に予想通り利下げが行われました。ただ、パウエル議長が今後の利下げに慎重な姿勢を示したことから、株価は一時急落しました。インフレ再燃への警戒感が根強いと、利下げ後にもかかわらず長期金利が上昇し続けるという、かなり珍しい展開となりました。株価の重荷になったと考えられます。

欧州では、ECB（欧州中央銀行）が予想通り利下げを実施しましたが、景気と企業業績は低迷が続きました。新興国は、米国の金利予想が上振れたため為替が軟調となり、株価も相対的に弱い動きにとどまりました。日銀は利上げを見送り、米国の利下げピッチは鈍化すると見られたため、ドル高円安が進み、日本株は上昇しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドは値上がりしましたが、市場の動きを下回りました。ドル高により円換算で最も値上がりした米国株の組入比率が低いことや、保有ファンドの多くが市場の上昇に追従できなかったことが影響しました。売買は見送りました。月末の組入比率は87.0%と、前月から若干上昇しました。

## 今後の見通し

トランプ大統領の就任を控え、当面は政策への期待と不安が交錯する局面と考えています。トランプ政権の政策はまだ不確定な部分が多いので断定はできませんが、総じてインフレ圧力を高めることになりそうです。減税や規制緩和による経済活動の活発化、輸入品に高関税をかけることによるモノの値段の上昇、移民排斥で労働者が不足した場合の賃金上昇圧力、などが想定されています。米国にとって中長期的には好ましい影響をもたらす内容も含まれているものの、目先は負の効果が強いのではないかと懸念されています。

関税引き上げ案はトランプ流の交渉術に過ぎないとの見方もありますが、本気だとの意見も少なくありません。相手に「本気だ」と信じさせるためにいくつかカードを切る可能性はありそうです。ただ、従来の発言通りに引き上げを行えば、インフレ再燃などによって2年後の中間選挙で不利になるリスクもあるため、ある程度バランスをとることも考えられます。いずれにせよ米国新政権の言動に一喜一憂することになりそうです。

インフレ圧力を高めかねない政策を前に、金融当局はインフレの再燃に一段と神経をとがらせ、利下げに慎重な姿勢をとり続ける可能性が大きいと見られます。PER（株価収益率）など株価指標の多くは株価が割高であることを示唆していますし、長期金利が上昇傾向にあるため株式の相対的な魅力は低下しています。また、投資家の株式保有比率は歴史的に見てかなりの高水準にあり、追加投資の余力は低下しています。こうしたことから、株価が調整に向かう可能性が増していると思われそうですが、同時にそれは買い増しの好機になるとも考えています。

運用責任者 久保田徹郎

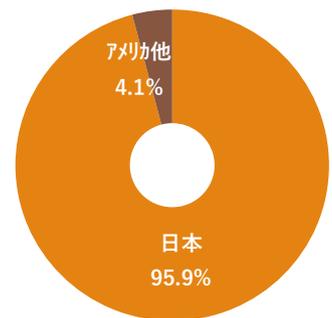
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



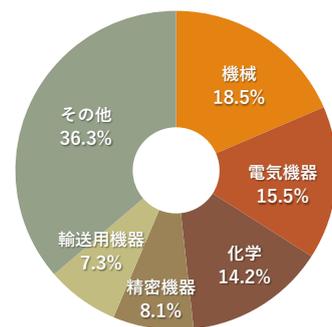
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	3.9%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 テルモ	3.7%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 トヨタ自動車	3.0%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
5 セブン&アイHD	2.7%	日本	小売業	大手総合小売業
6 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
7 プリマストーン	2.5%	日本	ゴム製品	夕竹世界大手
8 INPEX	2.3%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 日立製作所	2.3%	日本	電気機器	総合電機世界大手
10 三菱重工業	2.3%	日本	機械	大手総合重機
<b>上位10銘柄</b>	<b>29.3%</b>		<b>現金等</b>	<b>10.6%</b>

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年12月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



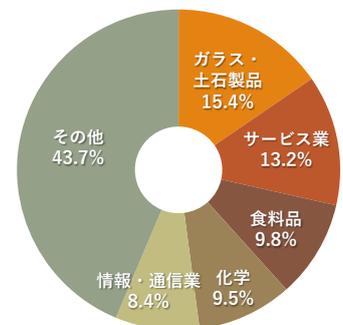
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スレーパー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
<b>現金等</b>	<b>5.3%</b>			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年11月末現在 >

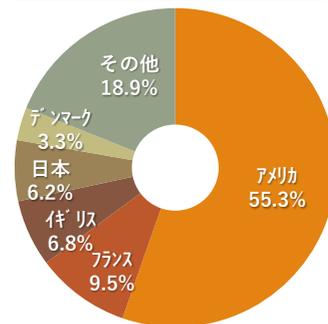
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



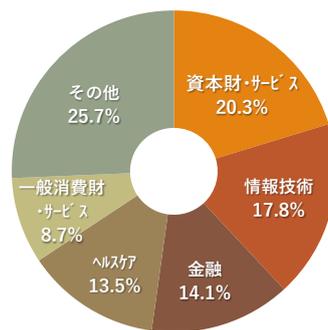
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	2.5%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Apple	2.3%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
3 Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Novo Nordisk	2.2%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 Alphabet	2.2%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
6 Safran	1.8%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 JPMorgan Chase	1.5%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
9 SAP	1.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
上位10銘柄	19.3%	現金等	4.4%	

業種別構成比



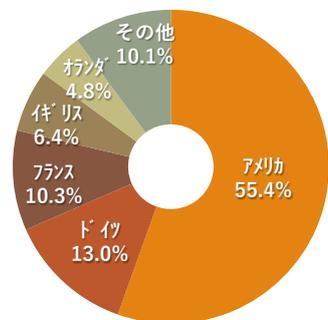
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年11月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CNH INDUSTRIAL	3.6%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
2 ALPHABET	3.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
3 BNP PARIBAS	3.4%	フランス	銀行	フランス大手銀行
4 IQVIA	3.4%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 CHARLES SCHWAB	3.3%	アメリカ	金融サービス	資産運用、証券仲介、銀行業務等
6 CHARTER COMMUNICATIONS	3.2%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
7 KERING	3.1%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
8 MERCEDES-BENZ	3.1%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
9 CAPITAL ONE	3.0%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード 事業等
10 BAYER	3.0%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
上位10銘柄	32.2%	現金等	3.9%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年11月末現在>

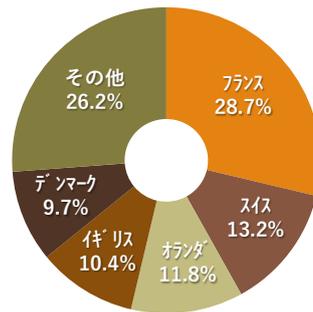
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	7.0%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	6.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ESSILORLUXOTTICA	5.3%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 SCHNEIDER ELECTRIC	4.9%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
5 ALCON	4.1%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
6 AIR LIQUIDE	4.0%	フランス	素材	産業ガス世界大手
7 RELX	3.6%	アイルランド	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
8 DASSAULT SYSTEMES	3.3%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフト会社
9 EXPERIAN	3.2%	アイルランド	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
10 STRAUMANN HD	2.9%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
上位10銘柄	44.4%	現金等	3.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



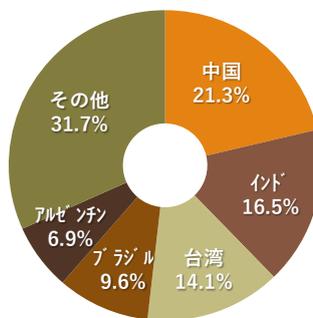
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年12月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



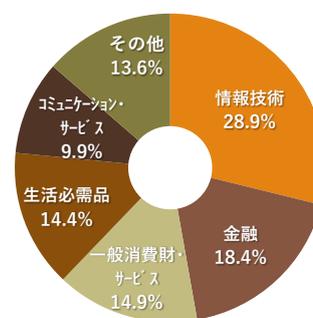
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	6.9%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 DELTA ELECTRONICS	4.1%	台湾	情報技術	電源、変圧器
4 MERCADOLIBRE	4.1%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
5 ASML	3.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6 DISCOVERY	3.6%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
7 WEG	3.4%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
8 MIDEA	3.3%	中国	一般消費財・サービス	家電の製造販売
9 SAMSUNG ELECTRONICS	3.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
10 Wal Mart de Mexico	3.1%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
上位10銘柄	44.8%	現金等	2.7%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年12月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## 目論見書の改定について

2024年12月21日にユニオンファンドの目論見書を改定いたしました。

詳しくは、前回のレポートおよび弊社ホームページに掲載しております目論見書の最新版をご確認ください。

## 取引残高報告書について

今回、「2024年10月～12月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

## 「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c及び運用損益は全預り通算で算出	
( 預り区分 )	評価金額	受取金額 [c]		
( 決算日 )	取得単価	個別元本		

預り区分	課税口座（特定口座または一般口座）での預り、非課税口座（NISA口座）をご利用の場合は「NISA（該当預りの適用年）」を表示。
数量	預り区分ごとのユニオンファンドの残高口数。
基準価額	作成日（2024年12月30日）現在の基準価額。
評価金額	預り区分ごとの作成日現在の残高の「評価金額」。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価	預り区分ごとのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。 ※ NISA口座でのお取引の場合は、非課税であるため参考の値です。 ※ 一般口座でのお取引の場合は、表示されません。
個別元本	全預り区分通算でのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。

以下[a]、[b]、[c]は、一つの預り区分の欄にまとめて記載（全預り区分通算の値）。

評価金額合計 [a]	評価金額の合計。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

## 【NISA口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。\*

※システムの仕様上、「つみたて投資枠」についても記載されておりますが、弊社では「つみたて投資枠」対象商品の取り扱いはありません。「成長投資枠」のみのご利用となります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。